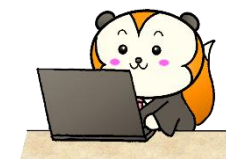


高裁なごや 第48号

—令和5年度 憲法週間行事報告—

5月30日午後2時から、Zoomウェビナーを利用し、法曹（裁判官・検察官・弁護士）によるトークライブを実施しました。今回は、裁判官・検察官・弁護士に加え、裁判所事務官・検察事務官を交えて開催しました。

約50名の方にご応募いただき、当日は学生の皆様をはじめ、様々な年齢・職業の方々にご参加いただきました。



オンライン

トークライブ 法曹に聞く

目指した
きっかけは？



トークライブ
法曹に聞く！

仕事の
やりがいは？





少しだけ、トークをご紹介します！

Q&A

裁判官・ 裁判所事務官に質問

裁判官



Q.現在の仕事のやりがい？

当事者双方の意見を中立な立場で聞いて、悩み抜いた末に最終的な結論を出すことです。責任感の重い仕事ですが、何事も先入観や固定観念にとらわれることなく、当事者の話を真摯に聞くことを心掛けています。

裁判官

Q.印象に残る仕事の経験は？

書記官時代、大きな事件を担当することがあり、裁判官、同僚、上司など様々な方と協力したことです。

準備したとおりに裁判が進み、事件を無事に終えることができたとき、やりがいを感じました。



裁判官

裁判所事務官

視 聴 され た 皆 様 の 声



裁判所で働く方たちの雰囲気を知れたのでいい機会になりました。また、裁判所事務官の方の話も聞けて良かったです。

法曹といえば厳しく冷たい雰囲気だと思っていましたが、全員笑顔で話していて、ユニークで明るい雰囲気もあり、少し身近な存在に感じることができました。



オンラインは参加しやすく、魅力的だと感じました。今回のような機会があれば、是非また参加したいです。

司法試験の勉強方法がとても参考になりました。あと、いろいろな興味が実務で役に立つという話は目から鱗でした。



時間の都合上、すべての質問にお答えできませんでしたが、たくさんのご応募とご質問をお寄せいただき、ありがとうございました。

